

一以貫之

敦賀気比高等学校 第1学年
学年通信 第11号
発行 令和3年1月12日(火)

(いちいかんし) 「一を以って之を貫く」とも読みます。
孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう!



新学期に向けて

高校1学年主任 時岡 隆夫

新年、明けましておめでとうございます。

日本の年末年始には、年越しそば、除夜の鐘、お節料理、初もうでなど、数多くのしきたりがあります。そして、元旦には、年神様が新年の幸福をもたらすために各家庭を訪れると言われてます。そこで、年神様が、どこに行ったら良いのか分かるように、目印として門松や締め飾りを飾るわけです。また、新しい年神様を迎えるにあたり失礼のないよにと、新年を新しい衣類で迎えるというのも古くからの習慣の一つでしたが、皆さんはどのように過ごしたのでしょうか。

さらに、1月1日~7日までの期間を「松の内」と言い、それが過ぎると、「鏡開き」といって、お供えしていたお餅を割って、みんなで雑煮にして食べる行事のようですが、昔は1月20日だったそうですが、現在では1月11日です。

1月に、こうしたしきたりや行事が多いのはなぜでしょうか。

たぶん、新しい自分に生まれ変わるためではないかと思えます。

思えば、月日のたつのは早いもので、皆さんは4月にこの高校に入学したわけですから、あと3ヶ月で1年が過ぎることになります。

この事実が意味することは、あと3ヶ月すれば後輩ができるということであり、そのためには、皆さん一人一人が自覚を持って敦賀気比高等学校の生徒としての模範を示す存在にならなくてはならないということです。

このような人になるためには、今何をすればいいのでしょうか。

それは、今の時期から2年生という自覚を持った行動をとることではないでしょうか。

皆さんが2年生とよばれるのは4月からですが、3年生も登校しなくなるこの3学期を2年生の0学期と考え、よい先輩としての行動を身に付ける期間として欲しいと思います。



行事予定

1月	12日(火)	第3学期始業式	
	16日(土) ~17日(日)	大学入試共通テスト (国公立大学を目指す人は、2年後に受験することになります。)	
	19日(火)	高校・推薦制入試	
	21日(木)	〈進学〉実力診断テスト	
	22日(金)	QU検査(6限目・LT)	
	23日(土)	県模試 (大学進学を希望する人は、受験を考えてみてください)	
	24日(日)	英検(1次)	
	26日(火) ~29日(金)	高3・卒業試験	



【保存版】進路について調べてみよう

「先ずれば、人を制す」という言葉があります。これは、何事においても、いち早く行動を起こした者が、良い結果を得られるという意味です。

当然のことですが、人から成功者と評価される人の多くが、これからの人生目標を早い時期に立てて、その目標達成に向けて惜しみない努力を払って成功を収めていることが、それを証明していると思います。

そこで皆さんにも、**これからの人生をどのように歩むのかを真剣に考え、得来自分はどのようなことをして社会に役立ちたいのかという目標を明確に持ってほしい**と思っています。

とはいえ、そう簡単に目標が決まらないのも現実です。

そこで今回は、将来の目標を決めるきっかけをつかむ方法について話したいと思います。

そこでまず注目してほしいのが、**進学指導部横(管理棟2階第1職員室前)の掲示板**です。



まず注目してほしいのは、進路の一覧表です。

ここでは**3年生の先輩たちがどこに進学や就職をしているのか**を知ることができ、皆さんの2年後の姿を簡単に想像することができるはずです。

もし、この中に進学や就職したいところがあったならば、**直接その先輩に話を聞きに行く**べきです。そして、どのようにすれば希望が叶えられるかというアドバイスをもらいましょう。

また、先輩に直接話を聞くのが恥ずかしいというのであれば、**進路指導部の先生に聞いてみる**のもいいかもしれませんし、**大学や会社のホームページにアクセスする**という手もあります。このようにして、**いち早く役に立つ情報を手に入れておく**ことが大切です。



次に注目してほしいのは、本校に来た指定校推薦の一覧表です。

これは大学進学を目指す人のための資料ではありますが、専門学校を目指す人や就職を考えている人も、一度は目を通してほしいと思います。そして、行きたいと思える所には、それにふさわしい応募条件があるということを知ってほしいのです。

その1つが、前回の学年通信第10号(12月22日発行)で紹介した『**評定平均**』です。

まだ計算していない人は今すぐに**自分自身の評定平均を計算しましょう**。そして、**自分の評定平均点だと、どの大学なら応募が可能かを調べましょう**。

調べた大学が、行きたいと思う大学ならいいですが、そうでなかったら、行くために自分が入力すべき教科が何かを具体的に考え、評定が上がるように努力しましょう。



この他にもいくつかのぼいんとうがあります。

その1つが、応募条件に書かれていなくても資格試験に合格しているのだから、重要な判断基準になっていることがあります。

これは実際の話ですが、ある**女子大学の担当者**の方と話をしたところ「**英検2級を持っていますか**」と質問されたことがあります。この言葉が意味することは、応募条件には書いてないが、この大学の推薦を受けるには英検2級を取っていることが条件だという意味です。

このように、学校の評価とは別に、公的な資格を身につけるということは、それだけ素質や意欲があるということを示すので、進学の場面に限らず就職を目指す人にとって高い評価をもらえるポイントになります。

そこで、**3年の1学期までに、多くの資格が取得するように**しましょう。

